

# 眞照寺新聞

令和5年

お盆号

発行元

興隆山 眞照寺

川副町犬井道 116

TEL: 45-2469

## 夏休みだ！子供たち集まれ！



九州北部の梅雨明けとともに連日、暑い日々が続きます。テレビやラジオから、「災害級の暑さ」、「連日の猛暑日」、「熱中症」という言葉を聞かない日はないほどです。

また、新型コロナウイルス感染症が五類感染症へ位置づけされ、四年振りに行動制限のない夏休みシーズンとなりました。

近頃、若者の寺離れというニュースを目にする中、子供たちにお寺の本堂に足を踏み入れてほしい、お寺を身近に感じて欲しい。

い、そんな思いから夏休み子供会を七月二五日に開催しました。

緊張し本堂の隅にじつと座っていた子供たちの顔が、住職の声掛けにてゲームをし、お経を読み、皆と触れ合ううちに笑顔になり、境内地は子供たちの大きな笑い声でいっぱいでした。

また、子供たちは仏教婦人会による手作りのカレーライスを口いっぱい頬張り、汗だくになるまで遊び、「楽しかった」、「カレー美味しかった」、「また来たい」と度々口にしていました。

四時間という短い時間でしたが、子供たちが全力で楽しんでくれた様子に私たちが元気をいただきました。

## 小なお念珠

五月二一日、本堂にて「初参式」を勤修いたしました。「初参式」とは赤ちゃんが仏の子として育ち、これからの人生を仏さまのお慈悲に包まれていけるよう、人生の出生にあたりその誕生を仏さまに報告する行事です。

小さな手でお念珠を持ち一生懸命、合掌する子供たち。子供たちの「初めての参拝」という時間を一緒に過ごさせて頂けたご縁に感謝いたします。

## 秋季法要について

門徒法供養のご案内でございます。門徒法供養は物故者をご縁とさせていただきますながら、私たち自身の生き方を見つめ直し、仏さまとつながれた先人の方々に感謝のお念仏を申させて頂く法要です。

本年は九月十六日(土)、十七日(日)、十八日(月)三日間のお勤めとなります。講師に北山組 谷水山 最勝寺 田中信勝師をお迎えします。

また、九月二十日より一週間お彼岸を迎えます。ご先祖を偲びながら、私たちが仏法に遭うご縁であったと聞かせて頂き、感謝のお念仏申させて頂きましょう。

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症が五類感染症となり行動制限のない日々となりました。with コロナと言われるようになりお寺でも法要・行事の御齋は中止、法要時間の短縮、消毒、検温、換気などあり方の変化が求められています。そのような中でも今後の行事のあり方について、忙しい中に時間を割いて話し合ってくださいる門徒役員や仏教婦人会の方々のおかげで初参式や子供会を開催できましたこと感謝申し上げます。

昨今暗いニュースを多く耳にします。そんな中、本堂から響き渡る子供たちの笑い声で多くの元気をもらいました。「また参加したい。」の言葉に励まされ来年の夏もまた子供会を開催できたらと思う次第であります。